

北海道情報大学広報誌

2020

2

vol.73

# ななかまど

 北海道情報大学  
Hokkaido Information University  
[ <https://www.do-johodai.ac.jp/> ]



2020(令和2)年2月20日発行

特集

NASA プロジェクト

## 宇宙花火実験に 参加して

ICT を活用して  
健康長寿社会を創生

文部科学省私立大学研究ブランディング事業採択

Johodai

# 北海道情報大学について、あなたはどのくらい知っていますか？

## 建学の理念

情報化社会の新しい大学と学問の創造

## 本学の目的

国際情報化・  
高度情報通信社会の  
進展に適応した  
広い分野の知識と専門の学術を  
深く教授研究するとともに、  
情報メディアを駆使し、  
実践的教育並びに人格教育を通して、  
豊かな知性と国際感覚及び  
応用的能力を兼ね備えた有為の人材を育成し、  
もって学術・文化の向上と  
人類社会の発展に寄与する



## 本学の使命

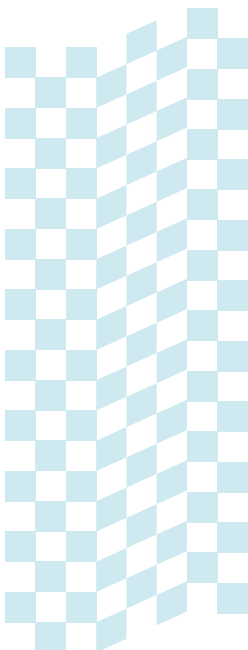
産学協同の精神の下、  
豊かな国際性、  
創造力ある人間性を涵養し、  
実学に裏付けられた実践的な  
専門教育を通して、  
我が国の国際情報通信社会の  
進展に貢献する  
高度情報通信技術者を  
育成する

## 本学の果たすべき機能

「情報を核とする高度な専門職業人養成機能」  
「国際性と豊かな人間性を育む教養教育機能」  
「情報に関わる通信教育の拠点機能」  
「地域貢献・産学連携機能」

## 北海道情報大学紀要 第31巻 第1号のご案内

北海道情報大学紀要は、教育研究活動の成果を学内外に公表することを目的に年2回刊行する学術誌です。本学のホームページでご覧いただくことができます。



### <論文>

「総合的な学習（探究）の時間」における高大連携プログラムの開発（Ⅲ）  
—プログラムの内容を導くための調査分析— 椿達 五浦哲也

### <研究ノート>

観光振興に向けた新たな地域の魅力発信方法  
～たびろくムービーズ背景動画テンプレートの制作と評価～  
長尾光悦 黒澤彩華 山田愛 斎藤一 佐藤信吾 鈴木裕一

### What Japanese university EFL students like about HEL

Joel P. Rian

### <報告>

AIを活用したインタラクティブなプロジェクションマッピング制作  
斎藤一 杉澤愛美 長尾光悦 安田光孝 向田茂

### 短編映画『自死幫助課』制作プロジェクトの報告

島田英二

[表紙の写真] ノルウェー スバルバル諸島で撮影されたものです

## 学長コラム

「国を亡ぼすのに武器はいらない。教育をダメにすれば、その国は亡ぶ。」と言われます。教育の崩壊は、国の崩壊につながるのです。

“教育”とはそれほど大事なことで、“国家百年の計”と言われるゆえんです。

教育は学校だけで行うものではありませんが、学校での教育は初等教育を行う小学校から始まって、中学校・高校での中等教育を経て、高等教育（大学・短大・高専・専門学校）には18歳人口の約8割が進学しています。大学への進学率は近年18歳人口の5割強ですが、18歳人口は減少の一途をたどる一方、進学率の伸びはあまり期待できず、大学進学者数の減少は免れないでしょう。本学ではそのような環境においても、強みである情報教育をさらに洗練・強化し、この21世紀の情報化社会を生き抜くためのIT（情報技術）の

知識とそれを支える幅広い教養を身に付けることができる、無くてはならない大学を目指して、教育の質の向上に取り組んでいます。

また、学内の学修環境の整備にも力を入れており、今年が目玉の一つとして、

eDCタワー6階に新設される次世代教育推進室（仮称）があります。ここにはハイスペックなPCや大型ディスプレイが設置され、最近話題のeスポーツの開発にも力を発揮するでしょう。

さらには、学生食堂の大幅なリニューアルや、eDCタワー2階のコンビニの開店など、キャンパスライフの向上も期待できます。



さわい すぐる 学長  
澤井 秀 学長

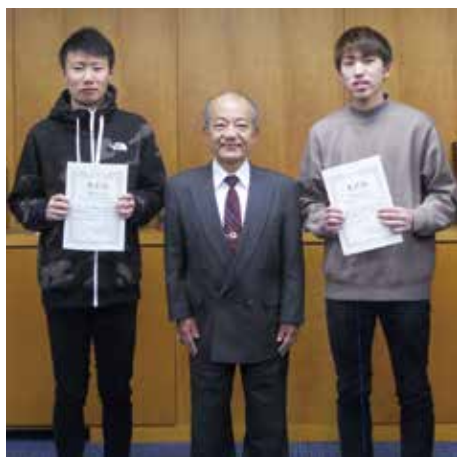
## 北海道情報大学 News

### 7年ぶりの学生表彰 室内テニス優勝 森さん、陸上3位 濱岡さん、長谷川さん

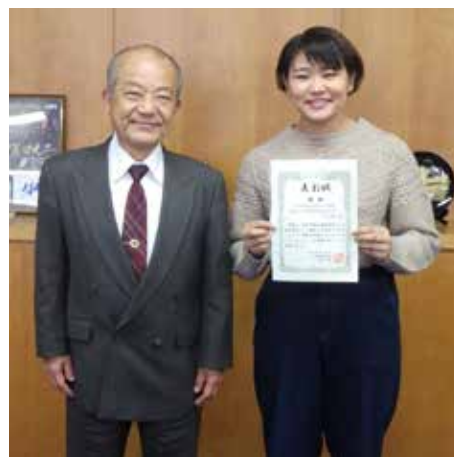
昨年7月に開催された第74回国民体育大会北海道代表選手選考会（はまおかりょうへい）で、先端経営学科1年 濱岡凌平さんが成年男子400メートルで第3位、同じくシステム情報学科1年 長谷川遼（はせがわりょう）さんが成年男子400メートルハードルで第3位に輝き、11月18日学長室で、学生表彰が行われました。

また、医療情報学科2年 森史佳（もりふみか）さんが北海道学生テニス選抜室内テニス選手権大会の女子ダブルスで優勝し、1月21日に学生表彰が行われました。

学生表彰は、2012年にYOSAKOIソーラン祭りにおいて準YOSAKOIソーラン大賞を受賞した「江別まっことええ&北海道情報大学」以来、7年ぶりとなります。



左が濱岡さん、右が長谷川さん



澤井学長と森さん

## NASA プロジェクト～宇宙花火実験に参加して～

情報メディア学科 准教授 かきなみ よしひろ 柿並義宏



観測点ニーオルスンにて（左から極地研松下、高知工大渡邊、本学柿並）

### 【北緯 78 度の宇宙花火実験】

ノルウェー領・スバルバル諸島で行われた「宇宙花火実験」に情報メディア学科の柿並（筆者）、システム情報学科の佐藤隆雄講師、大学院生の嘉賀雄一、共同研究をしている高知工科大学院生の渡邊太郎で参加してきました。この実験は「NASA の極域観測プロジェクト」の一環として行われ、米国アラスカ大とクレムソン大が主体となり、各 1 本ずつロケットを打ち上げます。先発隊（柿並・嘉賀・渡邊）は 11 月 18 日に日本を出発し、コペンハーゲン、オスロを経由し、2 日かけて、人が定住する最北の街としても知られるスバルバル諸島のロングヤービンという街まで移動しました。11 月は極夜（日中でも薄明か、太陽が沈んだ状態が続く現象）のため、日は昇りませんが、この条件が今回の実験で重要となります。

今回の実験はロケットからバリウムとストロンチウムのガスを放出し、高度 100 ～ 300 km の風とプラズマの動きを測るのが目的です。このガスは太陽光を受けると散乱光を発しますが、その光はとても暗く、昼間では見られません。ガスは高度 100 ～ 300 km に放出するので、その高度に太陽光が当たり、地上では暗く、薄明となるタイミングでのみ観測することができます。このガスを放出する実験方法は、本学システム情報学科の渡部重十教授が中心となって、

日本で確立してきたもので、風を測る数少ない手法として注目されています。

### 【スバルバル諸島の生活】

観測はロングヤービンと同じスバルバル諸島のニーオルスンという場所で行いました。ニーオルスは研究目的以外では行けず、事前に許可を得て初めて行くことができる場所です。ここではシロクマが出没するので、街を出るときは銃を持たなければいけません。また、小さなお店が週に 2 度開くだけで、本当に研究するしかない場所です。

北極に近いので、オーロラがきれいに見えるのではと想像するかもしれませんが、オーロラがよく見える場所より緯度が高いため、きれいなオーロラはなかなか見えません。



世界最北の町ロングヤービンの教会



奇跡的に打ち上がった「宇宙花火」

### 【自然相手の難しさ】

実験は困難を極めました。発光雲が見えなければいけないので、観測地点が晴れていて、弱いオーロラが出ている必要があります。また、ロケット発射場の風が強いと打ち上げられず、ロケットは待機状態が続きました。そうしているうちに、柿並の滞在期限に達してしまい、後発隊の佐藤と交代して、柿並は無念の帰国となりました。その後もロケット発射の条件が揃わず、当初予定していた実験期間は終わってしまいました。急遽、実験期間を延ばすことになりましたが、日本チームは機材を米国チームに任せて帰国することになりました。

しかし、出発日当日、奇跡的に条件がそろい、ロケットが打ち上がりました！日本チームの感想は、「なんとか肉眼で見える程度でした（佐藤）」「ふう、なんとか打ちあがった。よかった（柿並）」。実験でデータが取れないことは恐怖でしかありません。自然相手の研究の難しさです。今回打ち上がらなかったもう1つのロケットは2021年に打ち上げ予定です。誰か一緒に行きますか？



観測点に行くための雪上車

最後に、国立極地研究所 国際北極環境研究センターのご協力なしにはこの実験はできませんでした。ここに感謝の意を申し上げます。



標高 540m、気温 -25°C の厳しい天候の中撮影

# ICT を活用して健康長寿社会を創生

本学は平成 30 年度「文部科学省 私立大学研究ブランディング事業」(以下、ブランディング事業)に、道内で唯一採択され、文部科学省からの資金援助を受けながら、ICT (情報通信技術) を活用して地域の人びとの健康寿命の延伸や今後期待される健康長寿産業の発展に貢献するための研究活動を行っています。

## “江別モデル” をベースにした 3 つのアプローチ

本学は、食が我々の健康にどのように役立っているのか(食の保健機能)について、エビデンス(科学的根拠)に基づいて評価をする仕組み“江別モデル”を構築してきました。

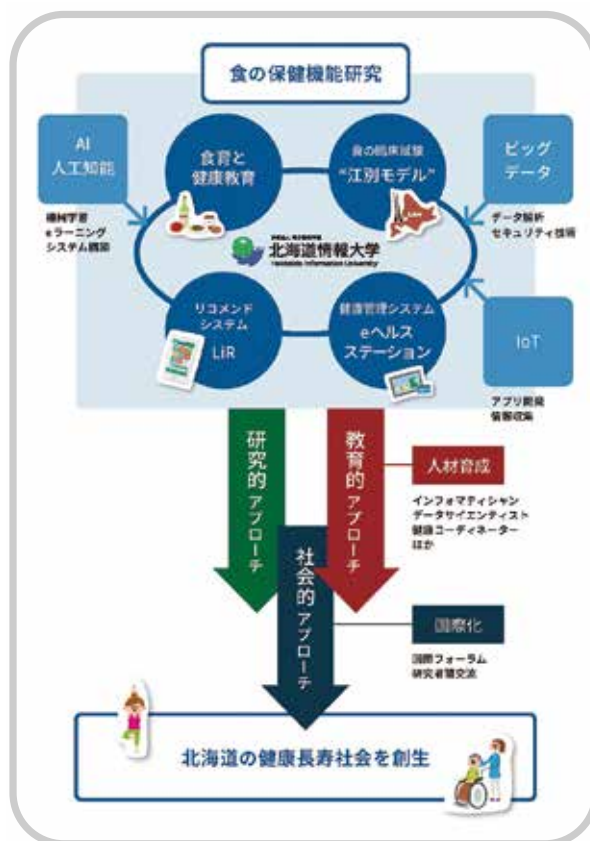
ブランディング事業ではこの江別モデルに、本学の強みである ICT を融合させ、次の 3 つのアプローチで活動を展開しています。

**① 研究的アプローチ:** 食による予防と健康維持に関する研究です。すでに江別市を中心に食の臨床試験や健康調査を実施しており、現在、集積した膨大なデータの解析を行っています。また、個人の健康管理を目的としたアプリ(LiR)や、体組成や血圧等を簡易に測定できる健康管理システム(eヘルスステーション)の開発も行っています。

**② 教育的アプローチ:** 地域で活躍する情報分野の人材育成などの教育活動です。特に AI 教育の充実・発展を図るために e ラーニングの開発や IBM 社との連携で IBM Watson® を活用した教育プログラムを開発しています。また、健康コーディネータの育成として「健康食品管理士」の資格取得支援も行っています。



「食の健康教室」の様子



**③ 社会的アプローチ:** 地域住民の健康維持に関する意識を向上させる活動や健康長寿社会の創生に向けたさまざまな社会活動です。具体的には学生や地域住民への教育・啓蒙を図る目的で、フードモデルを活用した栄養指導とタブレット教材を用いた健康教育を組み合わせ「食と健康教室」を各所で展開しています。また、ブランディング事業の取組みを紹介する「食と健康と情報」フォーラムを開催しています。

(医療情報学科 准教授 ほんまなおゆき 本間直幸)

## ブランディング事業の専用サイト

(<https://do-johodai-branding.jp/>) で最新の研究内容や、学生たちが市民の皆さんとのふれあいを通じて自身の学びと社会とのつながりを深めていく様子を随時発信しています。

約 26 万人が来場した世界規模のゲームイベント

# TOKYO GAME SHOW 2019



2019年9月12日(木)~15日(日)の4日間、千葉県の幕張メッセで開催された「東京ゲームショウ2019」に出展しました。

本学代表として、激戦の学内選抜を勝ち抜いた3チーム8名が参加し、1チーム1作品、計3作品を展示しました。

## BOX 作品①「BOX」 きた ともき えんどう かいと くらうちゆうや (喜多智基、遠藤甲斐斗、倉内悠椰)



実際に体を動かして時間内にボールをたくさん入れるゲームで、スコアによってエンディングが変わります。

LEDでの電飾効果もあり、老若男女、国籍を問わず非常に多くの方にチャレンジして頂きました。

## SNOW FIGHTERS 作品②「Snow Fighters」 たきもとゆうき とうしまあや (瀧本夕貴、當島彩)



2~4人対戦の雪合戦eスポーツゲームで、幅広い世代に楽しんでもらえます。東京ゲームショウ終了後も道内はもとより、東京や上海で開催されたゲームイベントでの展示など、現在も開発・活動を続けています。

後にも道内はもとより、東京や上海で開催されたゲームイベントでの展示など、現在も開発・活動を続けています。

## QUEST RUSH 作品③「QuestRush ~受付嬢の日常~」 こばやし りおか すがわらはるか たきやまてつた (小林璃桜香、菅原榛華、滝山哲汰)



ファンタジーな世界の受付嬢として、次々やってくる冒険者にクエストを斡旋するゲームです。

キャラクターは7億通りの組み合わせから作成でき、その完成度の高さから、後日、有名なゲーム会社の方から問い合わせを頂きました。



### 会場には有名なあの人も

会場内のブースデザインと設営も参加メンバー同士で協力しながら行い、今年は「雪とレンガの駅」をモチーフに看板を作成し、LEDライトで窓明りを再現するなど工夫を凝らしました。

参加メンバーはゲーム案内や質問対応を通して、たくさんのお客様と交流しましたが、なんとその中にはファミコン全盛期世代なら知らない方はいないであろう、あの高橋名人も含まれており、公式ブログで情報大ブースの紹介記事まで書いていただきました。

かわはら まさる  
(情報メディア学科 講師 河原 大)

2020年は  
eスポーツに  
注目

今年は上記8名の他にeスポーツサークルから4名が東京ゲームショウに参加し、彼らが現在研究中の「食とeスポーツ」について来場者アンケートを実施し、100名以上から回答をいただいたほか、会場内のeスポーツイベントの運営や装飾を直に見て、最新のeスポーツを学ぶことができました。次回の東京ゲームショウは9月24日(木)~27日(日)に開催される予定です。2020年は、今回以上にeスポーツの年となることでしょう。

# 蒼天祭

SO-TEN FESTIVAL

## ツナガルミライ

2019年10月12日(土)、13日(日)に蒼天祭が開催されました。台風の影響が心配される中天候に恵まれ「蒼天祭」の名にふさわしい青空の下、本学の魅力を多くの方に伝えることができました。

今年は令和初の蒼天祭ということで、「ツナガルミライ」というテーマで実行委員会一同準備を進めてまいりました。このテーマには今を明るく未来へつなげたいという思いが込められています。今年の蒼天祭を起爆剤として来年以降も新しいことに挑戦していきます。

### 舌が唸るほどのおいしさ！絶品料理並ぶ模擬店！！

毎年おいしい食べ物が並ぶ模擬店ですが、今年も大いに賑わっていました。

2日目は台風の影響を考慮し、外の模擬店はスカイウェイの下で行うこととなりましたが、多くのお客様が買い求めにきてくれました。

模擬店にはスイーツや体の温まるお茶漬け、2019年に流行したチーズドッグやタピオカジュースなどが販売されていました。



流行りのチーズドッグとタピオカジュースを販売している模擬店

### 情報大ならではの展示！

今年度も多くのゼミやサークルの展示が並びました。

プログラムやゲームなどの情報大らしい展示はもちろん、他にも個性豊かな展示が蒼天祭に来た方々を惹きつけていました。

今年もeスポーツサークルによるeスポーツ大会が開かれ、多くの方がゲームに熱狂していました。

また、昔のゲームをプレイできるコーナーもあり、ファミコンやプレイステーションなど懐かしのゲームが並んでいました。



eスポーツサークルによるレトロゲームの展示

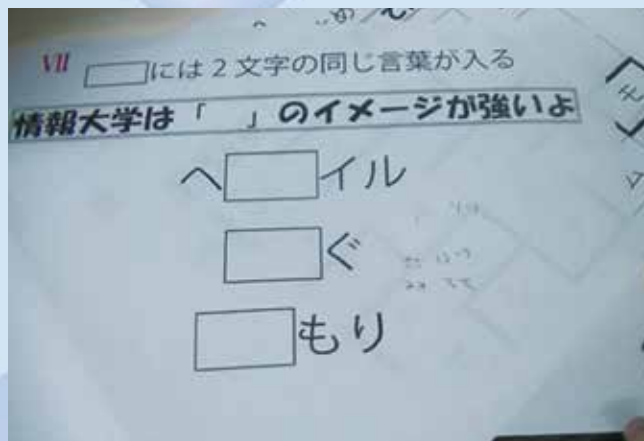


## 新企画

### リアル脱出ゲーム!

今年からの新企画として1日目にリアル脱出ゲームを行いました。この企画ではゲームマスターに扮するMCが参加者を講堂に閉じ込め、謎を解くことによって脱出できるという設定で行っていました。

たくさんの方々がゲームの謎に頭を抱えながらも楽しんでいました。



挑戦者を苦しめる難問

## 蒼天祭のフィナーレを飾る

### 蒼天大花火!



秋の夜空を彩る大花火

花火といえば夏だと思いますが、蒼天祭では2日目に秋の空には珍しい大きな花火がフィナーレを飾ります。500発以上の華麗な花火、その年の見納めにどうぞ!

この他にもYOSAKOI演舞や子ども向けアミューズメント、部活・サークルによるステージでの生演奏など、まだまだ様々な企画が盛りだくさん!是非来年もお越してください!

## アミューズメント

## 学生企画



## YOSAKOI 演舞



教職員の皆様や同窓会の皆様、OB・OG、蒼天祭に参加して下さった学生たちのお陰で今年も蒼天祭を無事に終えることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。来年以降も蒼天祭をより一層盛り上げていくのでよろしくお願ひします!

(学生実行委員長: 加藤 裕太)

# 新任教員 紹介

普通の生活を  
サポートしたい

医療情報学科 准教授  
とや のぶゆき  
戸谷伸之



研究分野：人間工学、電気電子工学  
担当する授業（オムニバス担当科目を除く）  
・物性工学・材料工学  
・コンピュータシステムⅡ  
・臨床工学基礎実験・ゼミナール・卒業論文  
研究室：323 研究室

## 前職と研究分野

はじめまして。2019年9月に医療情報学科に赴任しました、戸谷伸之と申します。

前職は釧路工業高等専門学校・電子工学分野にて「電磁気学」や「通信工学」、「電子計測工学」などの専門授業や学生指導を担当し、部活の顧問（陸上部）としては大会引率や審判業務も経験しました。研究分野は通信工学と計測工学を組み合わせたもので、主に「ヒトの転倒検出や防止」、「医療用通信システム」、「医療・農業・自然環境内における無線通信ネットワークの活用」等をテーマとしてきました。

## 学生時代から現在

学生時代は情報工学を学びました。当時世間では「ニューロコンピュータ」や「ファジー」等の言葉が使われるようになり、コンピュータに生体を応用した仕組みやあいまいさを持たせようとする先端技術が実用化され始めた時代でもありました。研究者の道への憧れから、ごく自然に情報工学という分野を選択したように記憶していますが、新しい学び舎と、就職に困らないらしいという単純な動機もあったような気がします。

初めての研究は「ヒトの頭部の傾きが視覚に与える影響について」でした。ここでは、被験者実験や統計学の導入、コンピュータを使った視覚計測用の画像作製、頭部の傾き

角度制御の方法検討など、新鮮な経験の連続でした。大学院は生体工学専攻に進み、医用電子工学の分野で医療用通信システムの研究に携わりました。周囲には他にも、ベース分野も異なる多種多様な研究プロジェクトがあり、このような複合領域の研究環境に身を置



無線通信ネットワークに関する研究

くうち、自分でも気が付かないうちに、物事を様々な角度から考えてみる基本姿勢が身についたように思います。

## 人々が普通の生活を続けられるように

北海道情報大学では、これまでの研究を引き継ぎ、医用工学を中心とした研究課題を継続・発展させていきたいと考えています。

これからの世の中はますます高齢化が進む一方、医療従事者が相対的に減少していきませんが、その影響を和らげるような仕組み、例えば高齢者が安心して移動できるようなシステムや、医療従事者をサポートして医療事故を防止するシステムについて研究を進めていきたいと考えています。そして高齢化社会であっても、なるべく多くの人々が普通の生活を継続できるような仕組みについて探究していきたいです。

## これからの展望

私自身、学生時代にはいろいろな人生の転機に恵まれ、また周囲の人々から多くの助けがありました。私もこれから巡り合う学生のみなさんが良い学生生活を送れるようサポートしながら、教員としての役割を務めていきたいと思っています。

最後になりますが、趣味は一つに絞ると小旅行でしょうか。行先のアクティビティ（釣り、ラーメン、コーヒーを飲みながらの雑談）はもとより、その移動手段や道中での様々な考え事など、旅の目的よりも過程全体をゆるく楽しんでいきます。もしよろしければ一緒に楽しみましょう。今後ともよろしく願います。



ファットバイクもやります

## Innovative な人材への 第一歩！11名が enPiT を修了

2019年12月6日(金)・7日(土)の2日間にわたり、本学から「enPiT」に参加した11名の学生たちが、室蘭工業大学でポスター展示による最終成果発表を行いました。

「enPiT」は、プロジェクトベース教育を通じて Innovative な人材を育成する1年間のプログラムです。

参加学生は、ビッグデータ・AI、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスシステムデザインの4つの分野において最先端の情報技術を学び、実践力はもちろん、他大学からの参加学生とのグループ作業を通じて、コミュニケーション力やリーダーシップなど、社会人として必要な力も鍛えました。今年度修了した11名の学生の今後の活躍に、本学として大いに期待しています。



【参加学生 3年生11名】

<先端経営学科> なかお 中尾 そら 空

<システム情報学科> わたなべたかのり 渡邊 貴識、おやま かなみ 小山 奏海

<情報メディア学科> つばき じゅんぺい 椿 淳平、いしだ じゅんき 石田 純基、くぼ はやと 久保 颯斗、

じん はやと はやし りゅうせい もり 神 隼人、林 流星、森 なおや かの ひろと いぬい ようすけ 直也、菅野 大斗、乾 耀介



## プロジェクション マッピングで 子どもたちに癒しを

2019年8月28日(水)、情報メディ

ア学科の向田研究室が、プロジェクションマッピングを用いて、外で自由に遊べない小児がん患者に

「海」を体験してもらうイベント

に協力しました。本イベントはアマゾン

ジャパンがボランティア活動の一環として開催し

たもので、向田研究室と小児がん患者を支える市民団体「勇者の会」の協力によって実現しました。



「海」を満喫する子どもたち

使用された映像は同研究室の<sup>かすかわゆうすけ</sup>粕川祐介さん(4年)が卒業研究として制作したもので、当日は、治療のため自宅で療養する13名の子どもたちが、壁面や床に映される青い海・打ち寄せる波を体感し、ひと時の癒しを満喫しました。

イベントの様子は翌29日の北海道新聞に掲載されました。



協力した向田研究室メンバー

(1列目中央 粕川祐介さん、  
同右 向田茂教授)

本学の最新情報は  
こちらからご覧  
ください→



# 春から新社会人 内定者インタビュー

札幌徳洲会病院内定 医療情報学部 医療情報学科 4年 なかがわ さき 中川 咲季



失敗を恐れな!!  
中川咲季

り伝わったんだと思います。YOSAKOI に一生懸命取り組んだことも評価のポイントだと感じています。



YOSAKOI ソーラン祭り 2018

**Q** 中川さんの就活についていろいろ聞かせてください。

まずは、就活を始めた時期から教えてください。

3年生の2月に行われたマイナビの就活イベントに参加したのが最初です。病院就職を考えていましたが、病院以外の会社の情報収集もしていました。

**Q** 病院以外の就職も考えていたんですね。

病院の求人それほど多くないと聞いていましたし、募集時期が遅いことも聞いていたので、医療に関わる会社の会社説明会には行ってました。

**Q** 病院以外も受験しましたか？

結局、受験したのは札幌徳洲会病院だけです。企業説明会には行きましたが、気持ちは変わりませんでした。高校生の時から情報大（高大連携）で資格対策をしていくつが資格を取得していましたし、大学に入ってから資格取得に取り組んできましたので、医療事務に就くために病院一本でいこうと決断しました。

**Q** 最初に受けたところが内定とは就活生の理想ですね。良い結果につながった秘訣だと中川さんが思うポイントを教えてください。

採用担当の方に言われたのは、応募書類の提出が早かったこと。私が1番だったらしいです。他に考えられるのは、高校生の時に職場体験に行ったのが札幌徳洲会病院で「将来ここで働けたらいいな」と考えていたので、そのことを面接の際に伝えました。その思いが本心としてっ

**Q** 高校生の時の思いがしっかり伝わったんですね。内定先ではどのような業務を担当する予定ですか？将来の目標も教えてください。

医療事務員として医事課業務にあたりますので、外来受付・会計・レセプト業務などが主な業務になります。業務は多岐にわたりますが、医事課業務全般をマルチに任せられる職員を目指したいですね。

**Q** 就活でお世話になった方を教えてください。

ゼミの清水先生にはよく進路に関する悩み相談に乗っていただきました。就職課での面接練習も助かりました。面接本番は楽な気持ちで臨むことができました。就活ではないですが、海老名先生の資格対策のサポートはとても手厚くて心強かったです。

**Q** これから就活をする後輩たちにメッセージがあればお願いします。

大学の授業と資格取得、YOSAKOI と時間に余裕がない学生生活でしたが、それぞれ目標を決めて取り組んだことが良い結果や成長につながったと思っています。目標を決めること、やると決めたからには決断をして取り組むことが重要だと思います。

## <2019年度内定企業（2020年3月卒業予定者）一部抜粋>

### ■先端経営学科

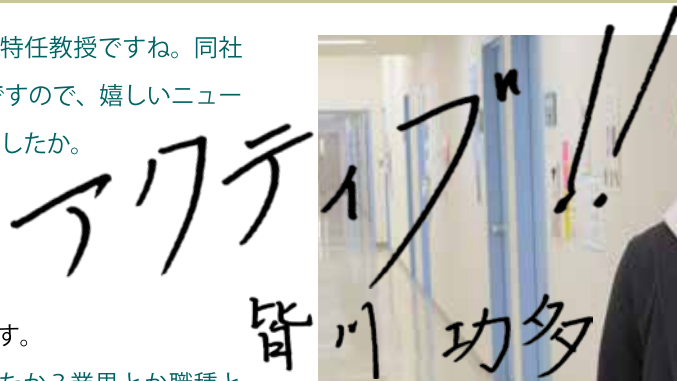
アインホールディングス、マンションマネージメントサービス、コープさっぽろ、東京めいらく、苫小牧信用金庫、日本ハウズイング、富士ソフト、まいばすけっと、ラルズ

### ■システム情報学科

宇宙技術開発、エスシーシー、NTT東日本ー北海道、協和エクシオ、ダイヤモンドヘッド、つうけんアドバンスシステムズ、TIS北海道、日本コムシス、ニトリ、日本アイビーエム・ソリューション・サービス

**Q** クリプトン社の伊藤社長は本学の特任教授ですね。同社に新卒入社するのは皆川君が初めてですので、嬉しいニュースでした。皆川君はいつ就活を始めましたか。

クリエイター採用に特化した就職サイトに登録をして、それまでに制作していた作品の投稿を始めたのが、3年生の3月下旬だったと思います。



**Q** 皆川君の「就活の軸」はありましたか？業界とか職種とか働く場所とか。

Web に関わる仕事に就くこと。働く場所のこだわりはなかったですが、東京に行きたい気持ちが強かったですね。

**Q** でも、内定先は札幌の会社ですね。気が変わったの？

3年生の秋頃に1週間くらい同社にインターンシップに行きました。その後、お世話になったマネージャーから「バイトしてみない？」とお誘いがあり、11月からアルバイトを始めました。週2でフルタイム勤務をして、社員と同じ環境で働くうちに気が変わっちゃいました。この会社でやりたいことができそうだなあと。

**Q** クリエイター、デザイナーなどクリエイティブ系職種を目指す場合、ポートフォリオを準備しておくことが大事ですよね。就活本番前に作品は作りためておいていたんですね。

大学の課題で制作したものだけでは足りないと思ったので、その他にWebサイトやバナー、ロゴデザインなども作っていました。ゼミのプロジェクトも多かったのでそこで制作したWebサイトやアルバイトで制作した作品も企業に見せられる質を目指して制作しました。私が応募した企業、特にWeb制作会社は全てポートフォリオの提出を求められましたが、準備は整っていました。

**Q** 入学前からWebに興味あったの？

ゲーム制作がしくて情報大に入りましたのでWebには



あまり興味はありませんでしたが、安田先生に、Webデザインコンテストに応募しないかと誘われて、とりあえずやってみようと思い組んだら、これが楽しかったんですね。入賞もできて、おかげで国際コラボレーション(タイ)にも参加でき、自信ができました。将来もWebに関わりたいたいと思うようになりました。



タイの民族衣装で散策

**Q** 入社後、どんな仕事を担当する予定ですか？

Webデザインだけでなく、グラフィックデザインも担当します。今、アルバイトでクラウドファンディングのデザイン業務に携わっています。入社後はデザイン全般を担当する予定です。

**Q** 将来の目標はありますか？

デザインに対する興味が強いので、さらにスキルを高めるためにしっかり勉強して会社に貢献したいですね。

**Q** 後輩にメッセージがあればお願いします。

あまり興味がなくてもイベントに積極的に参加してほしいです。人前で喋るスキルが磨かれたと思います。社会人との接点も多くありましたので、就活やプロジェクトのように社会人相手の場面でも伝えたいことを自分の言葉で伝えることができるようになりました。僕は、先輩からもらった「アクティブに」という言葉をすごく大事にしている、それを信じてやってきて良かったと思っています。

過去5年間 平均就職内定率(2014年度~2018年度) 96.4%

■医療情報学科

あらた、札幌徳洲会病院、NTT 東日本札幌病院、国分北海道、国立病院機構、戸田中央医科グループ、北海道勤労者医療協会、北海道国民健康保険団体連合会、LEOC

■情報メディア学科

アクセンチュア、クリプトン・フューチャー・メディア、セガ・インタラクティブ、ダイヤモンドヘッド、ラルズネット、札幌社、総合商研、メンバーズキャリア、ロケットスタジオ

# 2020年度 北海道情報大学 公開講座予定一覧

一般向け

小中高生向け

※会場：札幌サテライト以外は本学での実施となります。

2019年度は全30講座を開催し、多くの方にご参加いただきました。2020年度もたくさんの講座をご用意いたしました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



<p><b>5月30日</b> <b>ふれあいで悩みを軽減する心理体験</b></p> <p>講師：中村 正巳 会場：札幌サテライト 受講料 1,000円 定員 10名</p>	<p><b>6月6日</b> <b>誰でも話せる初級中国語会話を学ぼう！</b></p> <p>講師：田中 英夫 会場：札幌サテライト 受講料 1,000円 定員 30名</p>	<p><b>6月11日</b> <b>ニトリから知る経営&amp;会計</b></p> <p>講師：松本 紗矢子 会場：札幌サテライト 受講料 500円 定員 20名</p>	<p><b>6月13日</b> <b>初めてのアクティブリスニング（傾聴）体験</b></p> <p>講師：中村 正巳 会場：eDC タワー 受講料 1,000円 定員 10名</p>
<p><b>6月18日</b> <b>健康のカギは未病対策にあり！～健康食品を事例に～</b></p> <p>講師：本間 直幸 会場：札幌サテライト 受講料 500円 定員 30名</p>	<p><b>6月27日</b> <b>教師のためのコミュニケーション</b></p> <p>講師：五浦 哲也 会場：札幌サテライト 受講料 1,000円 定員 10名</p>	<p><b>7月4日</b> <b>新しい自分が見える心理体験</b></p> <p>講師：中村 正巳 会場：eDC タワー 受講料 1,000円 定員 10名</p>	<p><b>7月11日</b> <b>やさしく伝わる日本語～身近な人とのコミュニケーション～</b></p> <p>講師：田中 里実 会場：札幌サテライト 受講料 500円 定員 20名</p>
<p><b>7月16日</b> <b>教員のための教育心理学</b></p> <p>講師：五浦 哲也 会場：eDC タワー 受講料 500円 定員 20名</p>	<p><b>7月18日</b> <b>J・K・ローリングのハーバード大学におけるスピーチ</b></p> <p>講師：竹内 典彦 会場：実習室 1 受講料 500円 定員 15名</p>	<p><b>7月21日</b> <b>韓国について研究したら日本の未来が見えてきた</b></p> <p>講師：福沢 康弘 会場：札幌サテライト 受講料 500円 定員 30名</p>	<p><b>8月1日・2日</b> <b>こどもビデオ編集体験講座</b></p> <p>講師：向田 茂・安田 光孝 会場：画像メディア実習室 受講料 無料 定員 10名</p>
<p><b>8月8日</b> <b>夏休み自由研究教室～ロボットで科学を学ぼう・中高生編～</b></p> <p>講師：棚橋 二朗 会場：システム制御実習室 受講料 無料 定員 16組</p>	<p><b>8月9日</b> <b>夏休み自由研究教室～ロボットで科学を学ぼう・小学生編～</b></p> <p>講師：棚橋 二朗 会場：システム制御実習室 受講料 無料 定員 10組</p>	<p><b>8月22日</b> <b>小学生対象！オランダ流音読に挑戦！</b></p> <p>講師：竹内 典彦 会場：実習室 1 受講料 無料 定員 10名</p>	<p><b>9月15日</b> <b>太陽系探査のこれまでとこれから</b></p> <p>講師：佐藤 隆雄 会場：札幌サテライト 受講料 500円 定員 30名</p>
<p><b>10月22日・29日</b> <b>Webページ(ホームページ)制作入門</b></p> <p>講師：斎藤 一 会場：画像メディア実習室 受講料 3,000円 定員 20名</p>	<p><b>10月31日</b> <b>組織づくりに役立つ心理講座</b></p> <p>講師：中村 正巳 会場：eDC タワー 受講料 1,000円 定員 10名</p>	<p><b>11月12日</b> <b>観光まちづくり概論～江別は1時間1,000円の価値を提供できるか～</b></p> <p>講師：藤本 直樹 会場：eDC タワー ゼミ室 受講料 500円 定員 15名</p>	<p><b>11月14日</b> <b>集まれ小学生！！ピカッとプログラミング講座</b></p> <p>講師：向田 茂・安田 光孝 会場：画像メディア実習室 受講料 無料 定員 12名</p>
<p><b>11月19日</b> <b>ストレスマネジメントを知らう</b></p> <p>講師：五浦 哲也 会場：eDC タワー 受講料 500円 定員 20名</p>	<p><b>11月21日</b> <b>Wordの差し込み文書入門</b></p> <p>講師：柳 信一 会場：実習室 2 受講料 3,000円 定員 20名</p>	<p><b>12月5日</b> <b>スラッシュリーディングとフォニックス</b></p> <p>講師：竹内 典彦 会場：実習室 1 受講料 500円 定員 15名</p>	<p><b>12月12日</b> <b>AIによる画像認識のしくみ</b></p> <p>講師：越野 一博 会場：画像メディア実習室 受講料 500円 定員 20名</p>

お問い合わせ：  
北海道情報大学 通信教育部事務部（公開講座担当）  
TEL：011-385-4427（直通）  
FAX：011-385-1074  
E-mail アドレス：hiukouza@do-johodai.ac.jp  
受付時間：月～金曜日／9：00～17：45  
（土曜・日曜・祝日／休業）

お申し込み方法、その他詳細につきましては、下記のサイトからご確認ください。  
(<https://www.do-johodai.ac.jp/kouza/kouza.php>)  
※2020年度日程等は4月頃更新予定です。



## 教職員の動向について (2019年7月1日～2020年3月31日)

### 【採用 (9月1日付)】

(教員) 准教授 戸谷 伸之 (医療情報学科)

### 【退職 (3月31日付)】

(教員) 教授 加藤 喜久子 (医療情報学科)

教授 浜淵 久志 (先端経営学科)

講師 中里 浩介 (情報メディア学科)

(職員) 図書館事務室長 菅原 恭子

学生の皆さんに贈る言葉 加藤 喜久子

教えることを通して、懸命に学ぶ皆さんの成長の瞬間に立ち会うことができたことを幸せに思います。皆さんには、考える力を磨き、仲間と力を合わせて未来の扉を拓く人材になってほしいと願っています。

アイヌ語の「イランカラテ」(こんにちは～あなたに逢えてよかった)を、お別れの言葉にします。お元気で!



退任にあたって 浜淵 久志

不才の私が、30余年にわたり、教職につけたことに、感謝しきりです。日本は内憂外患、明日は何が起こるのか不安な時代です。しかし幕末のペリー来航から15年で徳川幕府が倒れ、ちよん鬻・刀の時代から15年で鉄道や大工場が誕生したように、30年もあれば世界は一変します。

学園の皆様の革新力に期待しています。



### □編集後記

これまで本誌は、本学学生で結成された「ななかまど編集隊」が担当していましたが、この度、大学広報の充実を目的に大学広報プロジェクトが発足し、最初の活動として本誌編集を担当しました。広報誌のほかインターネットやSNSなども積極的に活用し、情報大学のホットな話題をお届けできるよう活動していきます。ご意見・ご要望や広報活動に興味のある方は、ぜひ本プロジェクトまで!!

### 【大学広報プロジェクトメンバー】

あんばい たかし おかだ なおこ おだしま けいた きのした あつし  
安倍 隆 岡田 直子 小田島 敬太 木下 篤史  
さとう まみこ なかみち だいき にたとり かつま  
佐藤 真美子 中道 大樹 似鳥 克馬

「ななかまど」のバックナンバーは大学ホームページ  
(<https://www.do-johodai.ac.jp>) でご覧いただけます



発行：北海道情報大学  
編集：北海道情報大学 大学広報プロジェクト  
〒069-8585  
北海道江別市西野幌 59-2  
TEL 011-385-4411 (代表)  
FAX 011-384-0134

## 2020

## 4 月 April

2～8 日 スタートアッププログラム  
 3 日 (金) 入学式  
 9 日 (木) 前期授業開始  
 18 日 (土) 月曜授業日  
 29 日 (祝) 水曜授業日

## 5 月 May

7 日 (木) 火曜授業日  
 9 日 (土) 水曜授業日

## 6 月 June

4 日 (木) 前期前半授業終了  
 5 日 (金) 前期後半授業開始  
 10 日 (水) 創立記念日 (通常授業日)  
 19 日 (金)・20 日 (土) 体育祭

## 7 月 July

23 日 (祝) 木曜授業日  
 24 日 (祝) 金曜授業日

## 8 月 August

3 日 (月)・4 日 (火) 合同試験  
 5 日～9 月 22 日 夏季休業期間  
 20 日～29 日 夏期集中講義  
 31 日～9 月 5 日 追・再試験期間

## 9 月 September

～5 日 追・再試験期間  
 ～22 日 (火) 夏季休業期間  
 23 日 (水) スタートアッププログラム  
 24 日 (木) 後期授業開始

## 10 月 October

8 日 (木) 月曜授業日  
 9 日 (金) 授業休業日  
 10 日 (土)・11 日 (日) 蒼天祭  
 12 日 (月) 授業休業日  
 24 日 (土) 保護者と教員との懇談会

## 11 月 November

24 日 (火) 後期前半授業終了  
 25 日 (水) 後期後半授業開始

## 12 月 December

12 月 29 日～1 月 4 日  
 年末年始休業期間

## 2021

## 1 月 January

～4 日 (月) 年末年始休業期間  
 27 日 (水) 月曜授業日  
 28 日 (木)・29 日 (金) 合同試験  
 30 日～ 春季休業期間

## 2 月 February

～春季休業期間～  
 2 日 (火)・3 日 (水) 一般 1 期入試  
 8 日～13 日 冬期集中講義  
 15 日～20 日 追・再試験期間

## 3 月 March

～春季休業期間～  
 18 日 (木) 学位記授与式